

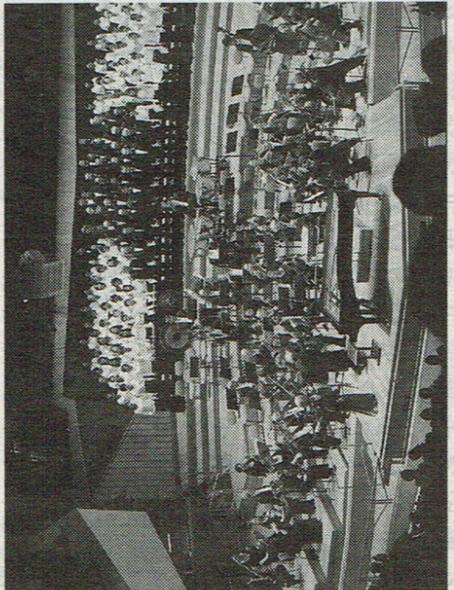
町田 水

FRP製品・設計・製作
ISO9002取得
登録証番号 JQA-QM5713
町田レジジン工業(株)
〒194-0035 東京都町田市忠生1-13-5
TEL 042-791-0256
E-mail mrk@machida-resin.co.jp

昭和47年創業 信頼と実績 東証一部上場企業
株式会社ケーエーエーホールディングス
国産・輸入車 新車・中古車の販売・買取
東京都町田市御園1670 TEL042-796-3131

緑豊かな英国調
ご宿泊・ご婚礼・ご宴会・ボウリング
出張料理・制菓・茶里人家
ホテルラポール千寿閣
JR町田駅南口前(P150台)TEL.042(749)1121
http://www.hotel-rs.co.jp

荒谷俊治氏がベルリンで ライプツィツヒ交響楽団を指揮



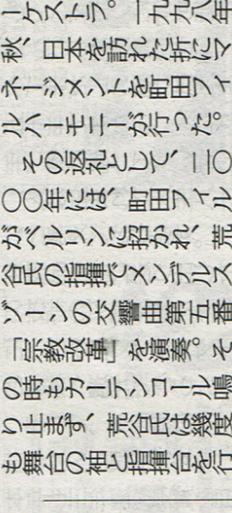
「水のいのち」演奏後(撮影=工藤武人氏)

東日本大震災復興支援で日独友好の架け橋に
ライプツィツヒ交響楽団は、今年四月に八十五歳の誕生日を迎える荒谷俊治氏も、当夜を回想着指揮者真利に尽きる一夜で

町田市在住の指揮者荒谷俊治氏が、三月三日午後八時現地時間に、ベルリンフィルハーモニー大ホールにおいて、ライプツィツヒ交響楽団を指揮して、ベートーヴェンの第九交響曲「合唱」を演奏した。これは東日本大震災復興支援コンサートとして、C.P.R.O.(東京都目黒区音楽会館)が企画したもので、当日のプログラムは、合唱交響曲の他、高田三郎氏作、混声合唱曲「水のいのち」で、原曲のアソ伴奏を、荒谷氏自ら二〇一三年にオーケストラセッションした管弦楽とピアノ伴奏版で演奏。高田三郎氏は、荒谷氏の作曲の師であり、当日は息女高田江里氏がピアノ演奏を担当した。また、オーケストラのライプツィツヒ交響楽団は、ライプツィツヒではグランドハウスに次ぐ名前オーケストラ。ソリストもソプラノの目々あ

認知症とともに、よりよく生きる

栗田圭一氏が講演



栗田圭一氏が講演

認知症の人が自分で気づき、ササヒスにつながるようにつなげることをめざした画期的パンフレットです。作成した理由は認知症がとて身近な病気だからです。二〇二二年に日本の認知症高齢者は四六万人(65歳以上の人の15%)で、MCI(認知症予備軍)の人は四〇〇万人(13%)と、65歳以上の人の約3割が、認知症またはその予備軍です。認知症有病率の推計値は、二〇二〇年に六二万人(7.2%)、二〇三〇年に七四四万人(20.8%)。更に糖尿病の有病率の増加による上昇を仮定した場合は六三三万人(18%)、八三〇万人(23.2%)です。日本は男性の平均寿命が80歳、女性が87歳、平均84歳です。世界一の長寿国。こんな長生きの国はどこにもありません。従って、認知症になるのも仕方ありません。アメリカのカミングスという学者が書いた教科書には、認知症の有病率は60〜64歳が1%、65〜69歳が2%、70〜74歳が4%、75〜79歳が8%、80〜84歳が16%、85〜90歳が32%、90〜94歳が64%と記されています。つまり、倍増で増えている。加齢が重要な因子なのです。最も科学的に意味ある対策は生活習慣病の予防です。アルツハイマー病のリスクは糖尿病だと2倍に増えると言われています。認知症とは、脳疾患により認知機能が低下し、生活のしづらさが現れる状態を指します。脳の病気は、アルツハイマー病60%、脳血管障害20%、レビー小体病10%、その他が10%です。アルツハイマー型では

五十嵐梅夫「草神楽」

二十二年十月に、南大谷の女流俳人五十嵐近藻(いがらしはまも)の連句集「草神楽」を刊した。五十嵐近藻は、梅夫研究会と町田市民交響楽が、この程、近藻の父梅夫(はいふ)の連句集「草神楽」(くさかぐら)を上梓した。凡例によると、梅夫編「草神楽」は、富士山立図書館に現在六冊(天「礼」(楽「射」(御「発句部」(ほくろ)が所蔵されているほか、天理図書館に四冊、松本市立図書館、柿岡文庫、松本文庫、榎本を蔵している。この天、まの五冊は、正倉院の内か、立した西園寺記録。初巻は、と鳥張で歌仙、月、安芸御手、七月からは、まの九州。二、下関を皮切りの、秋口の、文化五年、月まで、小宮、年四月には、は近江。六月、月、撰津・櫻(いづれも指、九月、伊勢、義仲寺。十一、文化七年正月、月、京都。、月、丹後宮、月、十一日、梅戸帰郷。天の井、文によると、神楽とした、のひびき環の、びて...と、入れている、前の俳人達が、成ったものと、「礼」の刊、「文化」とい、葉月)とあり

町田警察署長に 下田進一氏着任



むきに尽くしてほしいと思います。誰もが事件事故に遭いたくないのは尤もな話で、犯罪や事故を未然に起こさせない取り組みをしていきたいです。このため防犯と共に検挙にも力を入れ、この両輪で警察活動を展開したいと思っております。
【下田進一氏略歴】
昭和33年1月生まれ、57歳。東京都出身。
昭和55年4月、警視庁入庁。平成6年3月、警署長に、中野警察署地域

南大沢警察署長に 井上明仁氏着任



ちろ印象です。抱負は、地域住民の声に応える警察活動を進めていきたいと考えています。町の方が望んでいる声をしっかりと聞き、肌で感じながら、それに応えていきたいと思っております。署員には、そういう事を念頭において明るく元気に、誠実に活動する姿を地域の皆様に見せてほしいと思っております。
【井上明仁氏略歴】
昭和32年1月生まれ、58歳。兵庫県出身。

昭和50年4月、警視庁入庁。平成12年3月、八王子警察署地域課長代理に着任。同年12月、同署刑事課長代理。平成13年3月、総務省人事恩給局に派遣。平成15年3月、本庁警務部人事第一課係長。平成18年2月、小金井警察署地域課長。平成20年3月、本庁地域総務課遊撃特別警ら隊長。同年9月、本庁警務部人事第一課管理官。平成24年2月、目白警察署副署長。平成25年9月、鉄道警察隊長を経て、本年3月、南大沢警察署署長に着任。